

12. 皮膚科学分野

| | |
|-------|--|
| 研究テーマ | 各種マウスモデルを使用した新規ヒト胎児・新生児治療の開発 |
| 研究担当者 | 医学系部門・皮膚科学分野 <u>知野 剛直</u> 医学系部門・皮膚科学分野 <u>宇都宮 慧</u> |
| 概要 | 現在、各種疾患マウスモデルを利用した新規治療薬の効果判定は、成人マウスモデルを利用したものに限定されている。しかし、臨床医療現場で、出生後すぐに治療が必要な疾患や胎児中に治療を行った方が効果的と考えられる疾患は数多く存在する。そこで、本研究では、各種マウスモデルのマウス胎仔・新生仔に治療効果を有していると予想される新規薬剤を投与することで、その治療効果を胎仔・新生仔期で検証する。既に成人マウスで治療効果が確認されている薬剤を、マウス胎仔・新生仔に置き換えて投薬することが可能である。その際に、マウス胎仔では卵黄嚢静脈を利用し胎仔を傷つけることなく全身投与を行い、マウス新生仔では顔面静脈を利用し全身投与を行う。全身投与を行うことで、生体投与に近い状態で治療効果を検証する。 |
| キーワード | マウス胎仔・新生仔治療、治療効果 |
| 適用分野 | 胎児・新生児医療、新規薬剤 |
| 関連企業 | 製薬企業 |